

NewNormDesign プレスリリース（2026年3月30日） 参考資料

資源循環率可視化システムとは？

イベントや空間設計の「資源循環率可視化」とは、World Business Council for Sustainable Development（WBCSD:持続可能な開発のための世界経済人会議）が策定した指標 Circular Transition Index（CTI）をもとに、イベントや空間設計における資源の循環性を測定し、可視化する手法です。

同測定においてはイベントや空間設計で調達した資源全体に対して、再生可能な資源の割合を示す「サーキュラー・インフロー率」と、排出した資源全体に対して実際に回収された再生可能資源の割合を示す「サーキュラー・アウトフロー率」を算出します。さらに、これらをもとに加重平均を行い、資源全体の循環性を示す指標である「マテリアル・サーキュラリティ率」を導き出します。

この指標を用いることで、サーキュラーデザインを実装したイベントや空間設計が、実際にどの程度の循環性を持っていたのかを定量的に評価することが可能になります。

また、インフロー、アウトフロー、そして全体のサーキュラリティ率を分析することで、より循環性の高いイベントや空間設計を実現するための次のアクションを検討するためのツールとしても活用できます。

マティエーノに導入する本システムは、もともと博展が実装していたイベントの資源循環率の計測用だったものを建築プロジェクト向けに実装したものです。

参考図解

